

五峡の子

学校だより 1月号
荒川区立第五峡田小学校
校長 出井 玲子
令和4年1月11日(火)
TEL 3892-9515
五峡小ホームページ

<http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/DAISHAKETA-E/>

【学校教育目標】 「かしこい子」 「やさしい子」 「たくましい子」

寅年は「動」の年

校長 出井玲子



3学期の始業式を前にして、1月6日(木)に東京に雪が降りました。比較的暖かく穏やかな天候が続く年明けただただに身の引き締まる思いでした。

新型コロナウイルス感染症の新たな局面にも備え、予防対策の充実を図った上で子供たちにとって希望ある充実した一年になるよう尽力して参ります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年12月、人権週間に作成した「人権標語」は、どれも心温まるものばかりでした。学校代表に選ばれた標語は後に紹介されていますが、何より子供たち一人一人が自分や周りの人、見知らぬ誰かを思って、一生懸命に言葉を紡いで考えたことが大切だと思います。作成にあたっては、保護者の皆様にもご協力いただき感謝申し上げます。その中、心に残る標語を一つ紹介します。

「友達と一緒にいれば頑張れる」 友達を大切に思い、感謝する気持ちがよく伝わってきます。

外は寒さの厳しい今日この頃ですが、五峡小は温かい新学期のスタートです。

本校では、今年度「学びに向かう力の育成」について校内研究を行っています。「学習意欲を高める授業の工夫」「分かりやすい学習への誘い」などについて、子供たちの実態調査を基に工夫改善を図って進めています。実態調査は「全国学力学習状況調査」「東京都 児童の学力向上を図るための調査」のアンケートを活用しています。調査項目に次のような内容があります。

- ① 「テストで間違えたとき、なぜ間違えたか考えている。」
- ② 「授業中、友達との意見交換をすることで学習の理解が深まる。」
- ③ 「自分で考えたことを、積極的に他の人や先生に伝えようとしている。」

この①～③などについて、「肯定的な回答をした児童ほど、学習意欲が高く、成果が上がっている。」という傾向が見られました。そこで、例えば、①については、返却したテストで間違いの目立った問題については、担任が説明したり、児童同士で教えあったりして、見直しをするという習慣を付けています。

本校の教育目標「自ら学び、ともに学ぶ」「互いを認め、支えあう」にも通じるこの結果を見て「友達と一緒にいれば頑張れる」は、心も体も頭も大きく成長させるキーワードなのではないかと感じました。

そして、「学びに向かう力の育成」の研究については「興味・関心を高める指導の工夫」「粘り強い学習習慣の確立」「安心できる学習環境の構築」「主体的・対話的で深い学びの充実」など、教科や学年の実態に合わせて推進しているところです。

寅年は、昨年の丑年の「静」と対比して、「動」の年とされています。創立90周年から100周年に向けて出発する今年、安全対策を図りながら躍動の一年にしたいと思います。